

年 組 名前：

【 記事^{きじ}を先生^{せんせい}や家族^{かぞく}に
読^よんでもらうか、
自分^{じぶん}で読^よんだ後^{あと}に、
答^{こた}えてください 】



実^まったユズ^{ゆず}を収穫^{とと}する日^ひ出^でづる里^{さと}活^{かつ}性^{せい}化^か組^{ぐみ}合^あい^いのメン^{めん}
＝富士川^{ふじがわ}町^{まち}内^{うち}

ユズ香り高く 富士川で収穫

富士川町内で町特産品のユズが収穫期を迎えている。町内のユズ農家らでつくる「日出づる里活性化組合」（小池太一組合長）は5日に収穫作業をスタート。この日、メンバーは専用のはさみを使い、黄色く実ったユズを丁寧に摘み取っていた。作業は12月下旬まで続く見通し。小池組合長によると、今年は収穫量が少ない「裏年」に当たり、夏場の高温の影響もあって収量は昨年比べて減少する見通し。小池組合長は「昨年より量は取れないが、香りはよい。料理やゆず湯などに使ってほしい」と話していた。組合は19、20の両日午前9時〜午後3時、組合の加工直売所（同町小室 周辺で「ゆずの里収穫祭」を開く。ユズを使ったうどんや餅などの加工品を販売する。（山本就巳

問1

収穫^{しゅうかく}の時期^{じき}を迎^{むか}えたユズは、
どこの市^{しちやうそん}町^{とくさんひん}村^{むら}の特^{とく}産^{さん}品^{ひん}ですか。

.....

問2

組^{ぐみ}合^あい^い長^{なが}は、昨^{きの}年^{ねん}と比^ひ較^{かく}して、今^{ことし}年^{ねん}の収^{しゅう}穫^{かくりやう}量^{りやう}を、
ど^どのよ^ように話^{はな}していま^{いま}すか。

.....

(2022年11月6日付 山梨日日新聞 1面)

問3

「ゆずの里^{さと}収^{しゅう}穫^{かくさい}祭^{さい}」では、ユズ^{ゆず}を使^{つか}った何^{なに}を販^{はん}売^{ばい}しま^ますか。

.....